

学校教育目標 『自立から自律へ』

目指す子どもの姿 「確かな学力」「豊かな人間性」「豊かな心と身体」「未来に生きる郷土愛」

令和6年度 吉里吉里学園

中学部 進級式

4月5日(金)、7年生6名の新しい仲間たちが吉里吉里学園中学部にやってきました。元気な声と笑顔が校舎内に響き渡り、令和6年度の進級式を無事に執り行うことができました。小学部校長の藤井敏朗様、学園PTA会長芳賀新様と保護者の皆さまに見守られながら、立派な態度で式に臨んだ7年生たちは、不安よりも少しの緊張感とともに中学校生活への期待や決意を感じさせてくれました。校長先生が式辞で、7年生の皆さんに伝えたいことを3つ話しました。1つ目「周りから応援される人になってほしい」、2つ目「健康で丈夫な体を作る」、3つ目「困ったことがあった時、誰かに相談する」です。今後の生活に於いて、意識して取り組んでほしいと思います。



生徒会長の芳賀克さんが、「歓迎の言葉」を述べてくれました。在校生合唱も一人ひとりが、自分のパートをしっかりと歌い、先輩らしい歌声を響かせてくれました。

また、進級生代表の佐野和希さんも素晴らしい「誓いの言葉」を述べてくれました。中学部27名が一致団結して、今年度も実り多き一年にしてくれると思います。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

R6 進級式 誓いの言葉 代表 佐野和希さん

本日、私たち6名はこの吉里吉里学園中学部に進級しました。中学部に進級し、行事や勉強など、頑張りたいことはたくさんありますが、私は「初心忘れるべからず」で過ごしていきたいです。学習では、小学部ではあまり無かった漢字検定、数学検定が行われます。外国語も、今までは書くことが少なかったのですが単語や動詞を覚えて英語検定や友達とすらすら話す事を目標に、進んで学習に取り組んでいきたいと思っています。私はバレー部に入部しようと考えています。仮入部した際、たくさん走り、レシーブ練習をしました。バレーには、体力が必要になってくると思うので、体力もつけていきたいです。また、私たちは先輩方と過ごす、この学校生活をとても楽しみにしています。一昨年から行われている小中合同運動会や文化祭、郷土芸能など、たくさん行事を通して先輩方が全体をまとめる姿や、何事にも一生懸命取り組む姿を見てきました。その姿を手本とし、普段から全力で生活していきます。まだ、できないことが多い私たちですが、時に優しく、時に厳しく教えていただけますよう、お願いします。新しく始まる中学校の生活で学習と部活の両立に向けて、一生懸命取り組むことを約束し、誓いの言葉といたします。



在校生も決意を新たに始動しました

4月4日(木)に始業式が行われました。8年生代表 筑波虎太郎さん 9年代表 川原来琉さんが、決意発表を立派に述べていました。令和6年度、良いスタートがきれそうです。頑張っていきましょう。

「8年生で身につける力」 8年生代表 筑波虎太郎さん

私たちは今日から8年生としての生活をスタートさせます。今までよりもさらに忙しくなり、やるべきことが多くなるでしょう。そんな中で私は、8年生として大切にしたいことが2つあります。一つ目は時間に余裕をもって行動することです。これまで7年生として過ごした生活の中では、8時10分に登校してくる人がいて、チャイムが鳴ってから、あせって準備をすることが何度かありました。8年生では朝、全員が時間通りに集合して、落ち着いた状態で朝会や朝読書に臨みたいのです。二つ目は、日程を把握しておくことです。8年生になったら、今まで以上にやるが多くなると思います。やるが多くなると、忙しくなりあせってしまいます。私たちはあせってしまい、失敗してしまったことが何度もありました。そのため、日程を把握しておけば次の行動に移すのが早くなると思います。この日にこれがある、この時間にはこれがあると知っておくことで、他の人に教えてあげることもできるし、効率の良い時間の使い方をを見つけることができると思います。これらのことを今後大切にして、8年生として過ごす生活を進化させていきたいです。後輩ができて、教えていかなければならないことが増えていくので、自分たちのやるべきこともしっかりこなしつつ、後輩に対して優しく接していけるようにしたいです。また、昨年度以上に先輩のサポートを全力でしていけるよう頑張っていきたいです。

「9年生としての決意」 9年生代表 川原来琉さん

今日から私たちは最高学年としてみんなの手本となる存在になります。そのためには、自分たちが規則正しい生活をして、マナーを守ることも重要です。しかも、9年生は受験もある中、一つ一つの行事を成功させるという大きな役割もあります。それを乗り越えるために頑張りたいことが二つあります。一つ目は時間の使い方です。三学期に7年生に教えるためのダンスを練習していた時は、他のやる事と重なり全員で練習することが少なかったり後回しにしてしまったりする事がありました。そのせいで隊形移動があいまいになり、位置や振り付けもできていない事がありました。練習不足を実感し、これでは9年生としての責任を果たせないと思いました。次の運動会は自分たちにとって最後の行事なので、絶対に大成功で終わらせたいです。そのために昼休みなどの休み時間を使ってやるべき事を後回しにせず、取り組む順番を計画していきたいです。それを習慣づけることが将来的にも自分にとって大切な力がつくと思うので頑張っていきたいです。二つ目は受験勉強です。9年生になると受験まであと一年間しかありません。そこで、入試まであと一週間になった時の自分を想像してみたら、緊張していて不安を感じネガティブな自分が浮かんできました。そんな暗い感情が強くなってしまうと、本番でベストを尽くすことができません。そうならないためには日々の積み重ねが大切です。なぜなら、いざという時にいつもと違うことをしてしまうと焦ったり不安な気持ちが大きくなってしまいます。積み重ねをする事で解ける問題も増えて、自信を持って臨むことができるので、皆さんも、自分が継続してみたい事を決めて実行できるようにしてみましょう。これからの行事に向けた取り組みも頑張っていきたいし、最後の学校生活を楽しく過ごしていくために、時間の使い方や受験勉強を継続させていきましょう。中学校生活最後の一年間を悔いなく過ごせるよう、一日一日を大切にしていきましょう。

★転入のご挨拶

令和6年度定期人事異動により、下記の職員が本校に着任いたしました。

職名	氏名	前任校
副校長	平田善一(ひらたぜんいち)	普代村立普代中学校
事務	佐々木真希子(ささきまきこ)	釜石市立栗林小学校

子ども達のため、地域のために精一杯頑張ります。
よろしく願います。